

# ほほえみ

02 05 12

ゴールデンウィークの最中、我が家の中3と小2の娘が揃って突然高熱を出しました。咳に口内炎、止まらない鼻血、発疹。悪夢再びか。当番医巡りをしても理由分からずウロウロ。結局休み明けに「はしか」と診断されホッ。どうやらボウリング場で一緒に感染したようです。とんだ連休でした。やはり健康が一番。

## <第83回 ほほえみの会>

会員6人と高島先生、奈良先生が参加してくださいました。

- ▽ 3歳の女の子。入院して3週間で外泊許可。薬の副作用からか食欲が増しふっくらとしてきた。元気で食欲のある姿を見ると健康に見え、気分が楽になる。3週間ぶりに家庭内に笑顔が戻る。食べたいものや好きなものを存分に食べさせたいが、味付けや好みに変化もでている。入院当初は母親が精神的に参ってしまったが今では落ち着いてきた。子どもにとっては母親の笑顔が一番の薬ですので体調には気をつけてください。
- ▽ 病棟での食事についても話題となりました。

A1病棟では腎臓病の子が多く食事制限をされている。その中でご飯に塩をかけて食べたいというと腎臓病の子がいるので我慢してくださいと言われる。本人不満。病棟内は同じ病気の子どもに出来ないのか。病棟は科目ごとに変えてほしい。

また同じ病気でも食事の時にポカリなどの飲み物がついている子といない子がいる。子どもはほしがるが親もわがままは言えないと思って言わないがなぜ違うのか。

先生からは、化学治療で水分をとれない子は吐いた回数をチェックして水分補給を考えているので同じ病気でも人によって違う。食事についてはその都度先生に相談をすれば対応が出来るものもあるとのことです。

- ▽ また建設中の新病棟にも話は及びました。  
いまのB1病棟は暗い感じがする。子どもの病院なのでもっと明るい雰囲気が出来ないだろうか。イギリスの病院では病棟ごとに壁の色が違って、鳥や動物の絵が描かれている。また廊下にもいろんな足跡がかかれていて例えばキリンさんの足跡をたどると僕の部屋に行く、というふうになっている。新病棟では壁も子どもたちが自由に落書きをしてもいいようなそんな明るく楽しい感覚がほしい。アメリカではそうした病棟内アメニティについては企業の寄付金で施されるケースが多いようですが、新しい病棟には是非そうした感覚でお願いをしたいと思います。
- また長泉町に出来た「がんセンター」はありがたいが「がん」センターという名前は良くないという話もでました。この件は以前にも問題となり「ほほえみの会」では県に申し入れをしましたが、県では「施設にはその内容を一番わかりやすく表現する名称がよい」ということで変えてもらえませんでした。お役所の視点で物事を見ていて利用する県民の気持ちが理解できない「お役所仕事」は困ったものです。
- ▽ 2歳の男の子。ユーイング肉腫という珍しい病気で入院して10ヶ月、治療が終わって退院する。退院はありがたいが家が遠いので逆に不安もある。  
心配な気持ちはよく分かるが親が注意深く観察するしかない。家での子どもの様子は母親が一番よく分かる。お風呂に入っていてリンパ腺の異常を見つけた親もいる、という話もでました。
- ▽ 今年の総会は**7月14日（日）**に開催します。

次回は 6月 9日(日) 11時からです

ほほえみの会 代表 池田恵一 TEL054-247-9560  
E-mail アドレスが変わりました [klikeda@mx1.s-cnet.ne.jp](mailto:klikeda@mx1.s-cnet.ne.jp)  
ホームページ再開しました [homepage3.nifty.com/hohoemi/](http://homepage3.nifty.com/hohoemi/)